

平成 28 年度広報広聴委員会広報分科会 研修視察報告書

◎岩手県北上市（8月3日訪問）

《市の概要》

人口約 9 万 4 千人。平成 3 年 4 月 1 日に、旧北上市、和賀町、江釣子村の 3 市町村が合併して誕生したまちである。誘致企業や地元企業約 250 社が立地し、製造事業所従事者数・粗付加価値額は岩手県内第 1 位（平成 26 年工業統計調査）。郊外には田園風景が広がり、農業と工業のバランスがとれた活気あふれる都市として注目を集めている。

《調査事項》

1. 議会だよりの編集について

《視察の概要》

■説明 広聴広報委員会 三宅 靖 委員長

1. 議会だよりの編集について

①写真公募の運用状況と市民の反響

- ・公募による写真は、平成 27 年 4 月発行号から表紙に使用している。
- ・写真の公募は、議会への関心を高めることを目的に始めた。これまで風景写真を中心に 87 点の応募があった。
- ・写真の説明は、採用が決定された後、応募者に連絡し、説明文をいただいている。
- ・応募写真は A4 でカラープリントし、多数決で決めている。

②写真の選定基準

- ・議会広報にふさわしいか、シャッターチャンスをつかえているか、撮影場所や被写体に工夫がされているかのほか、広聴広報委員会広報部会で協議し、選定している。
- ・87 点のうち 80 点くらいが風景写真の応募となっている。風景写真は動きがないため、寂しくなったとの声も届いている。

③紙面づくりで工夫している点

- ・平成 5 年 4 月から表紙をフルカラーに変更した。
- ・討論の掲載について、本文の一部として掲載していたものを、平成 25 年 4 月からは、賛成と反対を枠で囲い、背景色を変えて、議案に説明とは別に掲載している。また、賛成と反対の文章のボリュームが同じ程度になるよう配慮している。
- ・議案に対する各議員の賛否を、平成 23 年 1 月から掲載している。
- ・一般質問については、平成 17 年 4 月から議員の顔写真を掲載するようになった。平成 24 年 10 月からは、議員の「ひとこと」を掲載している。ほぼ議員の原稿をそのまま掲載。一般質問とは関係ない議員のつぶやきのような内容の場合もある。さらに、平成 25 年 4 月からは臨場感をアップさせるため、議場で一般質問しているときの写

真を掲載している。平成26年7月から2ページに6人の議員の一般質問を掲載する体裁となっている。

- ・発行号ごとに色を変えている。

④議会だよりの配布方法

- ・行政区の区長を通じ、市の広報誌と同様に全戸配布している。

⑤議会での委員会の位置づけ

- ・合併当初は議会広報編集委員会、平成22年から広聴広報特別委員会、平成28年4月から広聴広報委員会と名称を改め、常設の委員会として体制を強化した。
- ・広聴広報委員会のメンバーは、正副議長、監査委員、議会運営委員を除く15名で、広報部会には、常任委員会の副委員長が所属し、議会だよりの常任委員会報告の原稿は副委員長が担当している。広報部会は、年4回の議会だよりの発行、広聴部会は市民と議会をつなぐ会を担当している。

⑥市民の意見を引き出す仕組み

- ・平成27年9月から11月まで議会モニター制度を試行し、議会だよりに関する意見を伺った。

⑦その他

- ・紙面は、事務局がパブリッシャーというソフトを使って編集・デザインしている。印刷業者にはデータを渡すだけとなっている。

◎埼玉県所沢市（8月4日訪問）

《市の概要》

人口約34万4千人。首都東京から30キロ圏内にあり、武蔵野台地のほぼ中央、東京都多摩北部に接する埼玉県東西部に位置している。明治44年には日本ではじめて飛行場が作られ、日本の航空発祥の地となっている。中心市街地では再開発が行われ、商業・産業の活性化など、さらなる発展が期待されている。

《調査事項》

1. フェイスブックを活用した情報発信について
2. 議会だよりの編集について

《視察の概要》

- 説明 広聴広報委員会 荻野 泰男 委員（昨年は委員長）
// 植竹 成年 委員

1. フェイスブックを活用した情報発信について

①フェイスブックの管理と運用

- ・SNSの活用としては、平成25年3月からツイッター、平成26年1月からフェイスブック、平成26年2月からグーグルのカレンダーを活用している。
- ・フェイスブックに掲載すると自動的にツイッターに反映される仕組みになっている。
- ・フェイスブックの投稿は事務局が行っている。
- ・市議会マスコットキャラクターのつぶやきが特徴的で、親しみやすさを出している。

②掲載基準

- ・細かい取り決めはないが、視察の受入情報、議会開催のお知らせ、議会だよりのお知らせ、イベントのお知らせ・報告等掲載することを委員会で確認している。

2. 議会だよりの編集について

①紙面づくりで工夫している点

- ・手に取ってもらえる市議会だよりを目指し、市民アンケートの結果を受け、表紙の写真は全面写真を採用し、目次を見やすく工夫した。
- ・一般質問のページについては、「議員の顔写真があればわかりやすい」という声があったが、議員間の意思統一が図られておらず、実現には至っていないとのこと。
- ・平成28年2月から所沢に関係する方を取り上げ、インタビューを掲載している。
- ・余白を生かした紙面づくりで、読みやすさを追求している。

②議会だよりの配布方法

- ・新聞折り込みによる配布のほか、市庁舎入口、市の出先機関、所沢駅構内、市内医療機関に置いている。また、スマホやタブレット端末のアプリ「i広報紙」にも掲載している。掲載に係る自治体負担は無料。

③議会での委員会の位置づけ

- ・平成23年5月から広聴広報委員会となり、地方自治法第100条第12項の規定に基づく協議の場に位置付けされている。委員は11人で、各会派から選出している。

④市民の意見を引き出す仕組み

- ・市民アンケートの実施
 - ⇒ 手に取ってみたい表紙はどれか市役所ロビーに掲示し、投票してもらった。
- ・ワールドカフェスタイルによる議員と市民との懇談会を開催し、まちづくり等について市民とともに考える機会を作っている。

ワールドカフェスタイルとは・・・テーマについて数人で話しあった後、テーブルホスト以外の参加者は他のテーブルに移動し、ホストから前の話し合いの要点を聞いた上でさらに話し合いを行うことを何回か繰り返し、最後に全体でまとめを行う方法。

《所 感》

北上市は、平成27年4月発行の議会だよりから、表紙の写真は公募によって採用した写真を使用しているとのことだった。横手市でも公募による写真を使用したいということで取り組んでいたため、タイムリーな研修だった。公募方法や写真の基準等について説明を受け、内容の濃い意見交換ができた。北上市は、5年前に比べると人口が増えている

ということであり、活気のある都市という印象を受けた。

所沢市は平成 25 年 3 月からツイッター、平成 26 年 1 月からフェイスブックを活用しているということで研修に伺った。フェイスブックの管理や掲載基準についての説明を受け、新たな情報発信手段として取り組みたいと考えている私たちにとって、大変勉強になった。また、10 年ほど前に視察に伺ったことを覚えていただいております、驚くと同時に感動した。

議会だよりの編集については、市民に愛される紙面づくりという方向性は横手市と同じで、両市とも工夫を凝らした広報活動をしていた。研修の成果を今後の紙面づくりに活かしていきたい。

以上、報告いたします。



北上市議会の視察



所沢市議会の視察